

親孝行な源兵衛さん — 坂本 —

いまから二百年ほど前、坂本に源兵衛さんという大へん親孝行な若者がいました。
その源兵衛さんが
「江戸へ出てひと旗あげてくる。」
といって、家を飛び出しました。

江戸に出た源兵衛さんは、両親との約束どおり、一生懸命働き、立派に出世しました。

そして、お嫁さんも、もらい幸せな毎日を送っていました。

ところがある年の春、田舎の両親が急病で亡くなり、そのあとを追うようにお嫁さんも亡くなってしまいました。

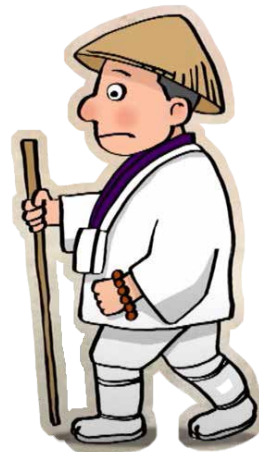
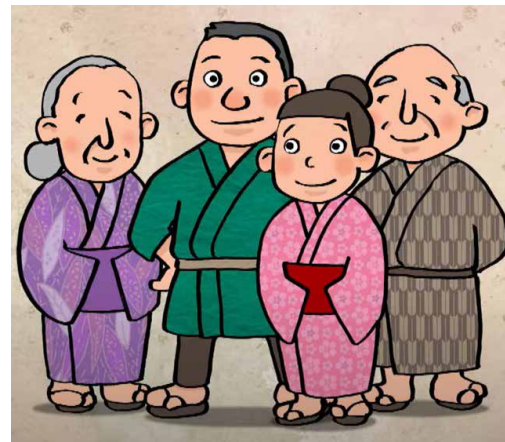
源兵衛さんは、悲しみのどん底に突き落とされたのです。

身内の者を一度に亡くすとは、余りの無情さに涙も出ません。

そこで、両親やお嫁さんの菩提を弔うため念仏を唱えて全国を歩くことにしました。
白装束に身を包み、各地で大乘妙典をいただき、四年間という長い歳月をかけて、
源兵衛さんは、一心に念仏を唱えました。

そうして故郷である坂本に帰り、お堂を建て、「大乘妙典、国土安全亮国武州江戸小船町一丁目 坂本 源兵衛」と石碑に刻み、^{まつ}祀ったのです。

それからは先祖代々、病で倒れるということはありませんでした。



キーワード：みんわ、坂本